

北風と太陽の法則

どんな場合でも、力づくで従わせるのではなく、優しく親切なやり方のほうがはるかに効果的です。親切や感謝の言葉はどんな怒声よりもたやすく人の心を変えることができます。

1 ほめる

どんなに小さなことでも、1歩でも前に進めたことがあればほめましょう。ほめる機会が無いな・・・と感じたら、まず「ほめるべき点」を探してみましょう。ほめるべき点を見つけたら、心の底からほめましょう。お世辞であってははいけません。

2 命令をしない

決して命令をしてはいけません。「ああしなさい」「そうしてはいけない」ではなく、「こう考えたらどうだろう」「これでうまくいけようか」と相手の意見を求めましょう。自尊心を傷つせず、重要感を与えることになり、自主的に動けるようになります。

3 顔をつぶさない

たとえ過ちを犯しても、感情的に怒鳴り散らしてはいけません。どうしてそうなったのか、相手と同じ立場にたって同情の気持ちを示しましょう。たとえ、相手が絶対に間違っているとしても、その顔をつぶすことは自尊心を傷つけるだけで終わります。

4 期待をかける

良い評価を与えましょう。やればできるのだと期待をかけ、能力を信じていると伝えましょう。延ばしてほしいところこそ、期待を込めてほめましょう。重要感を与えることで、期待に応えようとどんどん成長します。

「ありがとう」と、感謝の気持ちも忘れずに!!